

割引現在価値の仕組みと 計算ガイド



※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2026年1月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

割引現在価値の仕組みと計算ガイド

割引現在価値（DPV）の基本概念と重要性

割引現在価値とは

将来受け取る予定の貨幣価値を、時間の経過や不確実性を考慮して「現在の価値」に換算したものです。英語ではDiscounted Present Value (DPV) と呼ばれます。

割引現在価値が必要な理由

- ・貨幣価値の変動：インフレや物価変動により、将来の100万円は現在の100万円より価値が目減りする可能性があるため。
- ・将来の不確実性：将来の金額にはリスクが伴うため、現在の金額よりも低く評価するのが一般的です。

ビジネスにおける重要性

現在の利益や資産だけでなく、「将来の収益性やリスク」を現在の価値として数値化できるため、適正な投資判断や企業評価が可能になります。

割引現在価値の仕組みと計算ガイド

割引現在価値の計算式と具体的な算出例

計算の基本公式

割引現在価値は、将来の価値を「割引率」で割り戻して算出します。

割引現在価値 = n 年後の資産価値 $\div (1 + \text{割引率})$ の n 乗

【割引現在価値の変動シミュレーション】

比較項目	条件① (5年後)	条件② (3年後)
将来の資産価値	100万円	100万円
割引率	10%	20%
割引現在価値	620,921円	578,703円

計算のポイント

- 将来の資産価値が高額なほど、割引現在価値は上がります。
- 割引率や期間（年数）が大きくなるほど、割引現在価値は下がります。

割引現在価値の仕組みと計算ガイド

ビジネスにおける割引現在価値の応用とリスク

割引現在価値の主な活用シーン

- ・ **M&A**：設備投資や将来の収益予測を現在の価値に反映し、買収金額を算出。
- ・ **不動産投資**：将来の家賃収入や管理費用を勘案し、投資物件の正確な価値を判定。
- ・ **会計基準**：資産除去債務、退職給付会計、リース会計などの財務諸表への反映。

割引現在価値の限界とリスク

- ・ **不確実性の包含**：未来の売上予測は経済状況や技術革新などの外的要因に左右されるため、評価に不確実性が含まれます。
- ・ **主観による変動**：リスクの捉え方は評価者の主観に左右されやすく、設定する割引率によって算出結果が大きく異なる点に注意が必要です。